

花 波 矢 志 生

人里離れた幽境の岩清水のせゝらぎに、耳を傾け微笑をもらして居る大和撫子、青磁色に晴れ渡つた秋空に、眞紅の炎を燃やしてゐる鶏頭。さては堤に可憐な葦と嘯やくタンポ、。吾等の心の底にも様々な花が咲く。時には月見草に似た、淡い夢の花が。又時には濃艶な牡丹の様な花が。吾人の心中では屢此等の花の鬭争が展開された。悪の花と、善の花が人知れず必死の間答を續けた事も有つた。或は初夏の歡びが高鳴つてゐる様な輝かしい

華の開いた事もあり、憂鬱な灰色に蔽はれた砂漠の花も佗しく咲いて居た事が有つた。心の花！法悦、悲哀、爆笑、涙泣、希望、絶望、多くの惱ましき花。瞋恚の火花等々、百花燎亂！斯くの如く亂れ咲く明暗春風廿四番の花が悉く散り盡して後、初めて眞實の華が永遠不滅に咲き續くのである。そして暖かき光りに恵まれ、清き風にも吹かれるのだ。尊き心の花！明日は私の心園に如何な花が薫る事か。

(了)

栖神居詠草

わが父逝く

福 島 義 孝

臨終のおん經誦みてまゐらせんと心はげめどわが聲ほ出ぬ

一握の黒き土くれ入れまをす大地に今ぞかへります亡父

秋日さす裏山に烏啼きゐたり亡父をはふりの式は終りぬ

眼閉づればうつゝに見ゆるたらちねのこの面影よ消ゆる日は無けむ

汗の匂ひいまだに消えぬ亡き父の従軍手帖しばし手にとる

戦地より幼きわれを憂ひたまひ書き來し父ぞこの古き文
塹壕にて書きたまひしかこの文は世の常の文と思ふべからず
讀みゆけば幼きわが名いくたびも出でて來るにぞ涙とどまらず
たらちねの恩に報いんと思ひつゝ何一つせず茲に至りぬ
秋の色は庭に滿ちたり温き日向に立ちてみ空を仰ぐ

若き志士を憶ふ

祖國日本を救ふべしとて一すじに茲に到りしは人みなおもふ
惜しむべき生命を捨てゝ若人ら今日つゝましく國法の前に

親心

兒ら二人齡相つぎて小學生となるはうれしもわが親心
大人ぶりて新入學の妹に何か教ふる長男のこゑ
おのおのも新しき教科書に姓名を書けとせがむ吾が兒らその瞳の明るさ
二組の新教科書に片假名と平假名の姓名を書きてやりけり

七面山登詣吟

履きなれぬ草鞋の紐を結びかへ登る山路に身は疲れたり
水飲むと下り立つ谿の眞清水に垂れつゝ咲けり山吹の花
春木川のながれの中に砂金採る人ら小さく働くが見ゆ
川原に砂金を探ると人ら集ふ日に幾何の稼ぎかあらむ
登りゆく白樺林の木下道斑雪はにぶく光りぬたるも

下り来る白衣の道者ねもごろに笠をもたげていらへするなり

ほの暗きランプの下につゝましく吾等は夕餉いただきにけり

天長の佳節を壽ぐとみ民われこの高山の曉に立つ

皇國すまじの佳き日は今し富士が嶺のみ雪を染めて明け初めにけり

まなかひになみよろふ山の群を抜き大富士そびえ天明けむとす

老杉の木立が中に仰ぎ見る育恩堂の扁額の文字

八十路越えしおん母を脊にこの峰を登りましけむ元政上人

しつとりと木肌の苔も青めける元政櫻花は乏しく

をがみまをす祖像はもたいなけれども亡父に見え來て戀ほしかりけり

佐 渡 巡 禮

小夜更けて身は疲れつゝ覺めてをり清水トンネルを汽車出でんとす

山の風冷え冷えとして吹きすぐる汽車の窓べに朝明けんとす

信濃川朝もやこめし川口に汽笛はながくひびきわたれり

展けたる青田の中の杉木立雨は煙りて靜かなるかな

「文は人なり」と高山樗牛が泣きにける開目鈔は此處に書かれし

承久の往昔むかひぞ憶ふしんくと松の梢の夕寒き雨

夕せまるみ堂の縁に一日の歩み疲れし脚やすめたり

島の夜は遠鳴る潮をきゝつゝに旅のたよりに書きつとけたり

名物の無名異焼の杯は誰がためにせむ亡父を憶ふも

(塚 原)

(黒木御所)

(一 谷)

(相川町)

島に來て沁々聞けり佐渡おけさ宵はずどろになつかしく居り

あはたどしき旅にしあれどしまらくをラヂオの前に頭垂れけり

地下二千尺の縦坑縦坑の底に岩を掘る鑛夫のおもひは考ふるに堪へず

「山よわり」寂しき名なり働きてつひに斃るゝいのちを思ふ

粉と散る鑛石の破片は三角形の微粒ながらに肺を刺すといふ

乙女らは惱みもなげに語りつゝ手早に鑛石を選び別けて居り

ひきつめに結へる乙女の黒髪の花かんざしはゆれ／＼ゐたり

黄金狂ゴールドラッシュの世相はこゝにも見ゆるなり廻るベルトのよく張りきれ

破碎機のひときを遠く此處に來て鑛山道の野いばらの花

靜かなる小木の入江は島山の翠をたゝへ眼の下に見ゆ

經島の巖の上にわだかまり緑おごれる袈裟掛の松

紺碧の海のはたてに浮ぶごとなみよろふ山は彌彦ならむか

離れゆく島の灯かけのまたゝきもやがて視界に消え去らむとす

杉鉾の群れ立ちこめし鷺が峯に此頃しげく小鳥來啼くも

田川 惠 良
田村 孤 雪

(東郷元帥
國葬の日)
(金山)

虹映えて廣野明るし秋の暮
踊子の影も揃ふて濱の月
白菊に降る煤煙をにくみけり
笠一つ 殘暑の丘の畑打つ